

話題4：「モバイル活用による過疎地域支援」(資料-6)

株式会社 恵和ビジネス 取締役 志田 雅章



【講師：志田】 今回お話しする資料は、ソフトバンクテレコムの資料で、ソフトバンクさんと共同で初山別村向けの通信回線整備等を提案します。

現状回線の利用

役場の事業説明でも話されましたが、初山別村にはNTT東日本のADSL モアⅡの加入が200世帯強あるということで、まずこの回線を利用できないかという視点で検討してみました。

Wi-Fi用Fonルーターを既存のADSL回線に接続することで簡単にWi-Fi環境が構成できます。Fonルーターは世界150カ国で広く使用されている信頼性の高いルーターで細野先生が話された汎用性の高い機材です。この場合のWi-Fi環境はモバイル端末接続を基本として考えていますが、モバイル端末は音声による普通の携帯電話機能も持ち合わせています。Wi-Fi整備と併行して、音声による携帯電話接続の整備を同時に行うことも重要です。

Wi-Fi接続の提案

Wi-Fi環境について、提案が2つほどあります。一つは、村の中心部やADSL利用可能なところはFonルーターにより簡易にWi-Fi環境を作ることです。これは村の中に整備できる条件が整っているので、Fonルーターを入手するとすぐにでも実現できます。

沢沿いに奥まったところや住居が点在しているところ、またADSL未対応の箇所はどうするのか、といった問題がありますが、これらを解消するものとして、二つ目の提案として、カバー領域2Km程度のベルエアー社の屋外無線ルーターを複数地点に設置して村全体をカバーする方法があります。これは少しお金が掛かりますが、現実的には可能性が高い方法です。

コンテンツ利用

ソフトバンクのモバイル端末のアプリケーションは世界中で30万本以上あり、その多くが無償で利用できます。災害対策、教育、安心・安全、観光といった

分野ですぐに使えるようなアプリがあり、その代表的なものを紹介します。

まず災害時の連絡対応を考えますと、「TweetLine」というアプリが立ち上がっており、今回の震災でも使われています。

つぎに教育分野の利用を考えますと、クラウド型ラーニングサービスの「A'OMAI(アオマイ)」があります。非常に安い利用料で必要な教育や情報共有が可能で、コンテンツも1200以上ラインナップされています。

安全・安心面では、地域安心プラットフォームを利用した「あんしんアプリ」や「SOSアプリ」が利用できます。

観光では、「ふらっと案内」というサービスがあり、タウンガイド等と連動した観光促進が可能になります。初山別村の観光案内を情報発信し、それをWi-Fi環境の中でモバイル端末で利用してもらい、観光客を誘致しようという活用が可能です。

まず、できることから

まずADSLを活用してFonルーターによるWi-Fi環境をつくります。村の全地域をいっぺんに整備するのは現実的に不可能です。まず通信インフラの整備可能な地域に優先順位を定めて、通話とWi-Fi環境の整備を行い、その後順番にそれぞれの地域に適した方法を検討しながら村全体のネットワークを整備することが必要です。まずできることから始めるのがキイになるでしょう。

(志田氏の発言を手短にまとめて掲載しました。非常に多彩なメニューで時間が許されるならその一つ一つをじっくり聞いた際の司会者の感想もありましたが、その詳細は添付の資料-6に事例紹介を含めて示されていますので参照してください。)

(つぎに、産直通販の現状とネットビジネスの課題を(株)レガシィ、笠置社長が話題5として説明しました。)

村民全体のWiFiコミュニティの実現

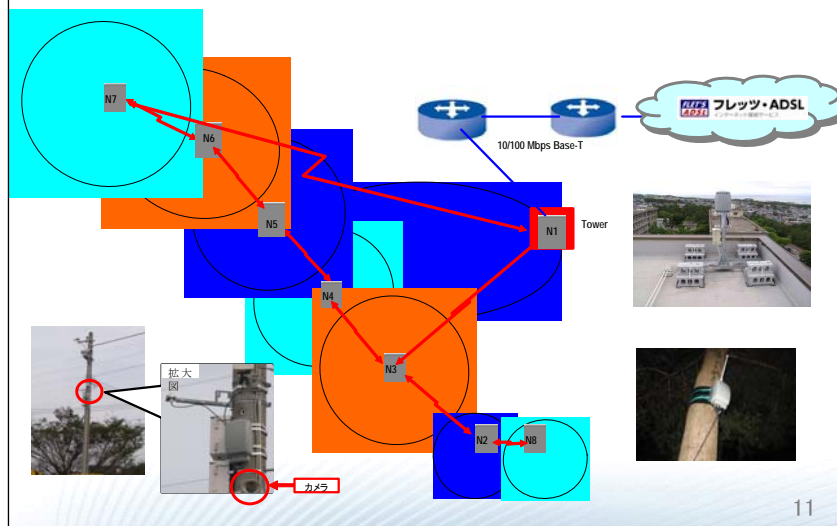
SoftBank



8

BelAir100/200ネットワーク構成

SoftBank



11

クラウド型次世代ラーニング「A'OMAI (アオマイ)」

SoftBank

サービス概要
iPad/iPhoneに対応した、クラウド型ラーニングサービス。
モバイル端末を活用して、企業内教育や情報共有を効率よく行えます。

お客様ご利用イメージ



- 利用者は、iPhone/iPad、Windows PCといったデバイスをを用いて、クラウド上にある学習管理システムにログインします
- 各利用者に割り当てられている「学習コンテンツ」、「テストコンテンツ」、「動画コンテンツ」などを利用して学習や情報共有を行います
- 各利用者の学習状況やテスト結果は「学習履歴」としてサーバに送信されます
- 各企業(学校・団体)の管理者は上記の学習履歴を参照、分析することが可能です
- コンテンツは市販のものを利用いただくこと、各企業等で制作すること、また、制作を依頼することが可能です

34

「SOSアプリ」の特徴

SoftBank

「SOSアプリ」は、迷子が発生した場合や助けが必要な場合などの緊急時に利用されるアプリで、起動すると10秒で位置情報を付加したSOSメールが自動送信される。
発信されたSOSメールは「あんしん板」に、緊急事態を示す赤背景色で表示され、このメールを見た人が、「あんしん板」に得た情報をアップし、協力者同士で情報共有しながら問題の解決にあたる



39